モノづくりがアツい！ MONO づくり三景

魅力的なモノや情報があふれる現代。インターネットを使えば世界中の商品を即座に買うことができる。そんな時代にあっても限られた人たちが限られた用途で使っているため、一般大衆の目に触れることなく使われているものがある。ここではそんなすぐれものたちを紹介する。

電線工事用手袋

命を守る優れもの

もうすぐ手袋が活躍する季節がやって来る。しかし手袋には防寒に限らず、けが防止やおしゃれなどさまざまな用途がある。中でも作業用には命を守る役割が求められることも。作業用手袋メーカーの東和コーポレーション（福岡県久留米市、松信和隆社長、0942・32・8355）には、300ボルトの電気が流れる電線の工事用に開発された手袋「低電圧用手袋」がある。約半年に及ぶ九州電力との共同開発を経て、2011年1月から現場で活躍している。

従来の電線工事では感電を防ぐためのゴム手袋の上に、傷を防ぐための手袋をはめて作業することが多かったと言う。そのために細かな作業が思うように行かず、作業者の精神的、肉体的負担につながることもあった。そこで作業のしやすさと安全を両立するために開発されたのがこの手袋だ。

絶縁性を持ったゴム手袋の表面に、すり減り、切り傷、火、熱に強いアラミド繊維を一体化している。二重構造の作業用手袋が多い中で異例の三重構造。1日40組ほどしか作れない「ほとんど手作り」（同社）。現在は一般販売されていないがその丈夫さは折り紙付き。消費者の要望が多ければ、文字通り〝手〟にできる日も早まりそうだ。

防爆パソコン

炭鉱などで活躍

とっさの雨や、いざという時のために防水ケータイを使っている人は多いはず。では「防爆（ばくはく）パソコン」はご存じだろうか。防爆？と首をひねる方も多いだろう。確かに日常生活で目にする機会は少ない。防水が水を、防火が火を防ぐように「爆」発を「防」ぐ、それが防爆。

でも爆発といっても、戦場で使うわけではない。使われるのは、化学工場や炭鉱など産業の最前線。引火の恐れがあるガスが発生、充満する場所だ。電気製品は当然ながら電気で動く。特殊な機械に限らず、普段何げなく私たちが使う電化製品も、電気の火花が爆発のきっかけになる危険性を秘めている。

パソコンもその一つ。オフィスでは無くてはならないツールだが、一部の現場では導入が難しいのが実情。キーボードやマウスも、たかが周辺機器と思うなかれ。防爆構造でなければ使えないのだ。利便性をそのままに、使用を可能にした画期的な製品が、中村電機製作所（佐賀市、中村直紀社長、0952・30・8141）の防爆パソコン。

ただしこのパソコンの性能を持ってしても、読者諸氏のブログの〝炎上〟は防げないのであしからず…。

移動式集じん機

製造現場のアイドル!?

クドーシズカが待望のデビュー。といっても、かつてのアイドルで、ビッグスターと結婚後、最近は画家としても有名なあの歌姫ではない。モノづくり界の「クドーシズカ」とは、三陽保安産業（長崎県諫早市、江濱良三社長、0957・23・5813）が製造する排気処理装置のこと。

この移動式集じん機は、工場やビルリフォーム工事での使用を目的に開発された。モノづくりの現場では、さまざまな素材を切断、加工して粉じんが舞うこともしばしば。溶接時はヒュームという有毒な金属蒸気も発生する。そんな密閉空間で活躍するのがこの装置だ。

最大の特徴は静粛性。〝駆動音が静か〟なのだ。でもただのダジャレではない。駆動音は60㌿以下と、一般的な話し声より小さく抑えてある。本体内部の素材や駆動部、ファンなど設計段階から静粛性にこだわった。いくら集じん能力が高くても、騒音が大きければ使う場所を選ぶことになる。「名は体を表す」ということは、簡単ではないのである。

中小機構九州は、中小企業と地域の活性化を応援します！

中小企業の海外展開への取組を個別アドバイスやセミナーなどを実施し、支援します。

国際化に係る経営課題へのアドバイス → 海外ビジネスの専門家が無料でアドバイス

海外販路開拓支援 → 海外展示会・国内での国際展示会出展をサポート

海外展開に関する情報提供 → 支援機関等と連携し海外展開セミナー開催

経営課題の解決のために、各分野の専門家による無料の窓口相談、派遣によるアドバイスを行っています。

専門家継続派遣
経営課題の解決、新事業開拓等の実現に向けて、経営ノウハウ等のソフト面を中心に総合的なハンズオン支援を行います。

戦略的CIO育成支援
経営戦略に基づくIT化計画の策定および実施に向けて、ノウハウ面のアドバイスを行うと同時にIT人材の育成も行います。

経営実務支援
特定の経営課題の解決に向けて、実務知識・ノウハウ面からアドバイスを行い、実務支援を通じて経営向上をサポートします。

販路開拓コーディネート
首都圏もしくは近畿圏市場へのアプローチを、テストマーケティング手法（想定市場の企業への訪問・ヒアリング）により支援します。

取引先の突然の倒産、そんなときにあなたを守る安心の制度があります。
（経営セーフティ共済が新しくなります。平成23年10月1日スタート。）

経営セーフティ共済
経営セーフティ共済は、万が一取引先が倒産した場合、回収困難となった売掛金相当の資金を調達できます。

掛金の10倍の範囲内で「最高8,000万円まで貸付け」
貸付条件は「無担保・無保証人」
掛金は月額5千円～20万円の範囲(5千円単位)で自由に選択。損金または必要経費に算入できます。

その他中小企業支援のため、中小企業大学校（直方校・人吉校）による人材育成や、インキュベーション施設、産業用地の提供なども行っております。

〈お問い合わせ先〉 中小機構 九州
独立行政法人 中小企業基盤整備機構九州支部
〒812-0038 福岡市博多区祇園町4-2 博多祇園BLDG　TEL:092-263-1500
HP http://www.smrj.go.jp/kyushu/index.html